

津山市重点課題	誰が(Who)	何を(What)	いつまでに(When)	どのように(How)	達成される児童・生徒像(数値目標)
学びのサイクル(津山モデル) 授業改善と家庭学習をつなぐ つまづき解消	①学力担当者 ②学力担当,担任 ③担任	①算数科の授業について指導を共通理解できるように,研修を定期的に行い授業改善を目指す。 ②全国学力・岡山県学力調査の結果から,苦手としている領域(算数)についてプリントを作成し,月一度全校で取り組む。また,今年度の学習の習得を図るため,算数確認テストを月一度する。 ③朝学習の徹底	①~④年間を通じて	①朝学習のプリントを整理,時間厳守の上取り組みせるとともに,間違っているものを解きなおす。 ②月一度月曜日の朝学習で,全校算数確認テストを行う。 ③授業の始まりで,復習問題や小テストの時間をとったり,フラッシュカードを使って,補充定着の時間にあてたりする。 ④毎時間,適用問題と振り返りの時間をとる。	①算数確認テストで6割以上の児童が66点以上をとる。
生活習慣の改善 スマホ対策と家庭学習の充実(児童会・生徒会や家庭等)	①情報担当者,担任 ②情報担当 ③保健安全担当	①自主学習の参考ノートの提案や指示を行う。各授業で振り返りの時間を設定する。 ②情報モラルの指導やスマートフォンやメール,ラインの使い方について授業をする。 ③授業中の姿勢を整え,やる気を支援する。	12月まで	①各教室に自学紹介コーナーを設けたりノートを回収したりして取り組みを活性化したりする。 ②計画を元に道まじい使い方について授業を行う。 ③立派を取り入れ朝の会,授業の開始に号令とともに姿勢を正す。	①家庭学習1時間以上,動画やゲーム2時間未満にする。

2 全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果及び成果と課題

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<p>【学力状況調査の結果】全国</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○算数,国語ともに全国平均・県平均に比べて正答率が高い。</li> <li>○算数については「数と計算」「量と測定」「数量関係」の領域で全国平均・県平均と比べて正答率が高かった。しかし「図形」の領域では,図形についての知識・理解・技能の面で課題がある。</li> <li>○国語については,「話すこと,聞くこと」「読むこと」の領域では,全国平均・県平均と比べて正答率が高い。しかし,「書くこと」の領域については,課題がある。</li> </ul> <p>県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」に関する問題の正答率は,県平均より低い。</li> <li>○「数と計算」については,定着してきているが,学年差がある。</li> <li>○数量関係,数学的な考え方に課題がある。</li> </ul>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の夢や目標を持っている児童が,県平均・全国平均よりも高い。</li> <li>○家庭での学習時間(1時間以上)の割合が,全国平均より高い。</li> <li>○1日当たりテレビやDVDを見る時間が県平均に比べて多い。</li> <li>○1日当たりの読書時間が,全国平均より低い。</li> <li>○いじめは,どんな理由があってもいけないことだと思える割合が100%である。</li> <li>○決まりを守ったり生活習慣が身についたりしている児童が県や全国平均より高い。</li> <li>○自分には良いところがあると答えた児童が83%いる。</li> </ul>

成果
○授業改善を進めた結果,高学年を中心に正答率が高くなってきた。

課題
○国語の読解力を高める必要がある。 ○算数の基礎的な問題の定着に学年差がある。(数量関係,数学的な考え方に課題がある。) ○確認定着問題をスタンダードの流れのなかでどの学年も実施していく。

3 今後の取組

何を(改善すべきこと)	いつまでに(成果検証の期限)	どこまで(対象と達成目標の設定)	どのように(方策)	達成状況(12月未現在)	達成度	達成状況(年度末)	達成度	次年度への改善点・重点課題
国語の読解力を養う。	12月	読みの問題の正答率が県平均を上回る。	○問題データベースの活用回数を増やす。 ○読解のαドリルの解き方を全学年共通させ,取り組む。 ○資料と言葉,文と文を関連付けて読み取る活動を取り入れた授業を行う。 ○読書活動を活性化させる。					
算数の基礎基本の問題の徹底を図る。	12月	全学年が過去問題で県平均を上回る。	○問題データベースを活用を2倍にする。 ○朝学習で苦手な領域にプリントに取り組んだり,確認テストを実施して記録にとったりして活用する。 ○考えさせる算数の授業改善に取り組む。					
家庭学習の定着と充実	12月	90%の児童が,本校目標設定時間を上回る。	○再度,家庭学習の手引きを配付し,学習時間,学習内容の確認を各学級で行い,取り組み時間を調べる。 ○自学の取り組みを活性化させる。					

※達成度 「S:目標を多く上回った(100%超)」 「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」 「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」 「C:目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」 「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」 「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

小中連携の取組
○メディアコントロールの取り組み ○久米中ブロック主任・主事会における情報交換 ○久米中ブロック学力向上研修会 ○久米中ブロック公開授業

保護者・地域へ理解・協力を求めること
○家庭学習の推進 ○基本的な生活習慣の支援